

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月 5日 更新

事務事業名		官民境界立会事務				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連		<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連		<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合 計画 体系	政策 施策 施策の柱	4 25 89	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり 行政改革の推進 公有財産の管理運営				所属部 所属課 所属班	事業部 建設課 管理計画班	課長名 担当者名 (内線)	中村 公彦 檜野 努 2271	
予算科目	会計 一般	款 8	項 1	目 1	事業連番 11152	根拠 法令					成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(開始年度 (~ 年度))	18	年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	土地の所有者が道路等との境界確定を行う際、申請に基づき境界立会を行い境界の確定を行う。国土調査が昭和40年代になされたが、その当時は木杭の設置であったため、年月が経ち杭が無くなり境界が不明になっている。このため境界を明確にし、個人及び市の財産の管理を行うものである。変化は見られない。
【業務の流れ】	申請の受付、立会い日程の調整、境界立会い、記録簿の作成
【主な予算費目】	なし
【意見や要望】	特に旧西合志町の地図の精度が悪いという意見があり、併せて地籍調査をやり直したがよいのではという意見がある。旧西合志地区の地籍図において、筆界未定の土地が多すぎるとの意見がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO) 申請書受付、審査、境界立会い、記録簿作成。	新規・拡充区分 28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度同様
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ⇒ア:申請件数 イ:立会い日数	(単位) 件 日 予算の主な増減の理由 前年度同様
②対象指標(対象の大きさを表す指標) ⇒ア:申請筆数 イ:	(単位) 筆 ③成果指標(意図の達成度を表す指標) ⇒ア:官民境界対応率 イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 国土調査の境界点を現地で測りだした場合、まれに合致しない点がある。この様な状況も踏まえ所有者に理解を得て境界を確定する。	総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移			単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込
① 活動指標	ア:件 イ:日		154 129	137 86	150 110	130 84	150 100	150 100	150 100	150 100	150 100
② 対象指標	ア:筆 イ:		0	233	230	197	210	210	210	210	210
③ 成果指標	ア:% イ:		100	100	100	100	100	100	100	100	100
投 入 量	事 業 費	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円 千円 千円 千円 千円 千円								
		(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外・特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	5 905	5 1,305	4 0	6 875	4 0	4 0	4 0	4 0	4 0
	(B)人件費計	千円	3,605	5,199	0	3,248	0	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,605	5,199	0	3,248	0	0	0	0	0

事務事業名	官民境界立会事務	所属部	事業部	所属課	建設課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (C H E C K)

* 原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒ 【原因 ↗】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策 ↗】 境界杭は本来所有者の財産である。所有者の費用負担は発生するが、所有者の理解が得られれば解決につながる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒ 【理由 ↗】 国土調査を再度実施すれば成果を向上できるが、それには膨大な時間、予算がないと行えない。また、住民の理解が得られないと予想される。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由 ↗】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒ 【理由 ↗】 他に類似事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由 ↗】 適正な事業の推進及び正職員の人事費以外に事業費はないため、削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒ 【理由 ↗】 境界確定には管理者として責任が伴うため、正職員以外の職員が行うべきではない。ただし、境界確定に専門的な知識を持つ者をということであるならば、境界立会いには正職員二人が必ず対応するためそのうち一人は正職員以外の職員もしくは委託でよい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒ 【理由 ↗】 公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒ 【理由 ↗】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒ 【理由 ↗】 公共の道路・里道・水路等は市の財産であるため行政で事業を行うべきである。

3 評価結果の総括 (C H E C K)

土地の所有者の申請により境界立会いを行うので、特に成果はない。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）(A C T I O N)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成 果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策